

9月13日(月) ADRについて説明会&相談会&交流会

10:00~15:00

【説明】約20分 【相談】事前予約承ります。(都合の良い時間帯)
【交流会】ADR 体験談を聞いたり、おしゃべりをしましょう。

福島県外避難者相談センター
千葉市花見川区検見川町 3-15-2

原発事故の被害を受けて千葉県に避難されている方へ

東京電力からの
損害賠償に
不満がある

東京電力へ
賠償請求すべき
損害がまだある



ADRセンターを利用してみませんか

ADRセンターでは、東京電力と賠償の合意をして賠償金を受け取られた方も、話し合い中の方も、まだ話し合いをしていない方も、どなたでも申立をすることができます。東京電力への請求を先行させる必要はありません。

ADRセンターは
東京電力とは
全く別の公的機関で
申立費用は無料です。

ADRセンターは
中立・公正な立場で
皆様と東京電力との賠償の話し合いがまとまるよう仲介します。

ADRセンターは
申立てのあった事例のうち
約8割で和解が成立
しています。

原発事故から10年がたちましたが、申立を受け付けています。お早めにご連絡ください。



文部科学省原子力損害賠償紛争解決センター (ADRセンター)
☎ 0120-377-155 (平日10時~17時)

ADRセンターでは 賠償金額を改めて算定し直します

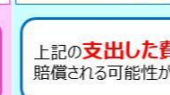
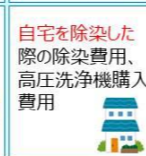
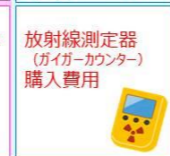
避難指示等対象区域の方

たとえば...



自主的避難等対象区域等の方

たとえば...



ADRってどんな手続き?

- ・申立ての書面はご自身でも簡単に作成できます。
- ・弁護士に依頼しなくてもご自身でも申立てができます。
- ・詳しい証拠資料がなくても申立てを受け付けます。
- ・原則非公開の手続きですので、周囲に知られずに申立てができます。

まずは、お気軽にお電話ください!

東北と千葉の出会いが広がりますように

エンジョイ
縁 joy

Vol.80 R3.8.1



発行: 認定特定非営利活動法人
ちば市民活動・市民事業サポートクラブ
連絡先: 〒261-0011 千葉市美浜区真砂 5-21-12
☎043-303-1688
E-mail npo-club@par.odn.ne.jp
発行部数: 2,000部
福島県から千葉県へ避難されている方の数: 2,069名
(令和3年6/9現在)

富岡町県外避難者支援拠点事務所 連絡先048-832-0600

《令和3年度事業計画》

コロナ禍の影響により、昨年度は当初計画の支援事業がほとんどできませんでした。今年度も今のところ目途が立ちません。コロナ禍が一段落後、例年同様の支援事業を開始する予定です。

【支援事業内容】

- ・戸別訪問 ・電話訪問
- ・避難先 NPO との連携確立
- ・交流会、サロンの開催
- ・富岡町行事への参加
- ・避難者による町民旅行開催

【支援員体制】

5名体制で今年度も活動してまいります。



後列 齊藤 並木
前列 中野 林 佐藤

特定非営利活動法人ちば市民活動・市民事業サポートクラブ 連絡先043-303-1688

《令和3年度事業内容》

・お住まい、健康、仕事のことなど、暮らしの中で困っていることなどのお悩み相談は
TEL080-5418-7286へ



鍋嶋 石井

- ・情報紙「縁 joy」隔月 2000 部発行
- ・交流会 第1回目9月13日(月)開催予定 (裏面に掲載しています)
- ・ミニ交流会を地域ごとに開催
- ・イベント「縁 joy・東北 2021」11月開催予定
- ・写真展3月開催予定

福島県外避難者相談センター(ちば)
080-5418-7286
相談専用ダイヤル
10:00~17:00 *対面相談については事前に電話予約してください。

	月	火	水	木	金
電話相談	○	○	○	○	○
対面相談	○	○	○	×	×

*祝日の場合はお休みとなります。
FAX 043-375-7148 メールアドレス ftsoudan@npoclub.com
〒262-0023 千葉市花見川区検見川町 3-15-2(おおなみなみ内)
福島県外避難者への相談・交流・説明会事業

情報紙「縁 joy」は、福島県県外避難者帰還・生活再建支援補助金を活用して
東日本大震災で被災し、千葉県内で暮らす皆様の不安や悲しみが少しでも軽減されるよう
そして、被災者に対する理解が広がることを願って作成・発行しています。

身体と心の小ネタ 第六十四便
「笑う門には」

ユーモアにあふれた笑いは、私たちの心を和ませ、潤いを与えてくれますが、実は身体にもよい効果があります。

半世紀ほど前のことです。アメリカのノーマン・カズンズというジャーナリストが重い膠原病にかかりました。膠原病とは皮膚などに炎症が起こる原因不明の難病です。主治医は治る確率を500分の1だと宣告しました。さて、医学的に打つ手が無い状況下でノーマンは何をしたのでしょうか。

なんとノーマンは医者からの許しを得て、独自のユニークな治療法を開始したのです。病室に映写機を持ち込んで、「どつきカメラ」のようなお笑い映画を上映し、そしてお腹を抱えて笑い続けたのです。すると不思議なことに痛みがどんどんと引いてゆき、ついには病気が治ってしまいました。にわかには信じがたい現象ですが、これはまぎれもない実話です。

なぜ笑いが身体に良い作用を与えたのでしょうか。これにはいくつかの理由が考えられます。まず、笑うという行為は適度な全身運動になります。さらに、笑うことにより呼吸が促進され、大量の酸素が取り込まれます。その結果、新鮮な酸素が脳に送られ新陳代謝が活発になり、同時に全身の血液が浄化され免疫力が高まります。このように笑うという行為は多くのよい作用を及ぼしているのです。

私たちの身体は本当に不思議ですね。

一般社団法人 千葉県公認心理師協会